

公開シンポジウム「京町家再生 これまでとこれから」 実施概要

日時	2023年3月11日(土) 14時から16時30分
会場	池坊短期大学「こころホール」
パネリスト	高木勝英(京都市都市計画局建築指導部長) 森重幸子(京都美術工芸大学教授)
コーディネーター	内田康博(京町家再生研究会理事長)
参加者	小島富佐江(京町家再生研究会理事) 57名
スタッフ	21名(含む、小中高校生6名)

1992年に京町家再生研究会が発足して、30年が経ち、これまでに取り組んできたこと、できたこと、これからしなければならないことなどを整理していく、というシンポジウムを開催した。コロナでいろいろな催しが止まっていたこともあり、久しぶりの対面行事は戸惑うことが多く、あれもこれも忘れていたが、みんなで協力で実りある、充実した会合になった。本当にありがとうございました。

森重氏が紹介してくださいました事例では、路地の形態や再生の手法が様々であった。同様に京町家の再生も回答はひとつではない。コストだけではなく、これからも生き続けるため、これからも住み続けるために必要なことを考えると、制度の言うがままでは良い形にならないこともなんとなくみんなわかっている。「それでも壊れるよりは」と努めてきたのが再生研の歴史でもあるが、30年前に比べるとできることは格段に増え、良い形にために戦うこともかなり負担が減ってきた。が、スムーズにいくわけではない。

そのためには小島氏が述べたように、一つずつ、丁寧によりよい解法を見出し、行政も専門家も共に考え、良い事例を積み重ねていくしかない。そういう決意を新たにし、会場の皆様からいただいた質問に答える形で活発なディスカッションが繰り広げられた。

総会報告

◇京町家再生研究会

日時	5月21日(土) 13時10分から13時40分
会場	大徳寺真珠庵
参加者	27名、委任状13名
会員数	61名(総会時)

大徳寺真珠庵、方丈の一角をお借りして、総会を開催いたしました。気候もよく、素晴らしい場所で会合を持つことができました。事業報告、計画予算については議案通り承認をいただきました。役員改選については、再任の承認を得ました。

今年度は活動が再開できる見通しとなっており、みなさまのご協力をいただきながら、進めていきたいと考えています。設計塾の卒業生をはじめ、若い新入会員が少しづつ増えてきています。新しい企画も検討中ですので、今年度も是非ご参加いただき、一緒に活動できれば、幸いです。

当日は、清水重敦・京都工芸繊維大学教授とともに、真珠庵山田和尚のご案内で、真珠庵を拝観いたしました。



特定非営利活動法人 京町家再生研究会
京町家友の会

604-8214 京都市中京区新町通錦小路上る百足屋町 384 番
TEL 075-221-3340
FAX 075-231-0727
E-mail saisei@kyomachiya.net (京町家再生研究会)
tomonokai@kyomachiya.net (京町家友の会)

編集協力: 富田千優(京町家再生研究会)



京町家情報センター

604-8241 京都市中京区三条通新町西入釜座町 32 番
TEL 075-213-1430
FAX 075-213-3013
E-mail joho@kyomachiya.net

オーナー登録数: 延239
ユーザー登録数: 延1887
物件登録数: 延2328
成約件数: 延247
(2023年10月2日現在)

京町家通信

KYOTO's
きょうの
TODAY's
KYOMACHIYA PRESS Vol. 133
2023年10月 発行

生き続ける京町家: シンポジウムと例会報告

1 公開シンポジウム「京町家再生 これまでとこれから」 報告

2023年3月11日、久しぶりに公開シンポジウムを開催した。詳細は作成中の2022年度事業報告書「京町家通信」にて紹介する予定、概要は裏面に述べるが、当日、とても印象的だったことを紹介しておきたい。

まず、全体としてかなり若返った雰囲気であった、ということだ。パネリストの高木勝英氏がびっくりされたように、若い人たち、子供たちの姿が目立った。彼らは設計塾や伝統親子体験教室の参加者ならびにその家族と友達、というかたちで、当日の運営スタッフとして活躍した。子供たちは手を抜かずに質問表やアンケートを回収に客席を何度も回るので、大人たちも真剣に考えて、アンケートにも答えてくれた。次の時代を担う若き建築の専門家たちとして、設計塾OBOGが集まつたのもうれしかった。彼らも「こういうときどういたらいいのだろう」と法制度と施主の要望の狭間で日々悩んでいることもよくわかった。高木氏をはじめ、行政担当者や民間の方々とのつながりができ、課題を課題として捉えなんとか解決しようと思ったときの糸口ができたことはなによりもありがたい。

シンポジウムが終了し、次の課題に向けてひとつずつ考えていくために、今年度は法制度や防災、地域の力を主なテーマに例会や勉強会を開催する予定である。すでに、6月例会では、景観の小嶋部長にお越しいただき、景観行政をふりかえるとともに、「何かあつたら相談に来てください!」というありがたいお言葉もいただき、若い人たちとのつながりもできた。

さて、彼らが考える場としてこのニュースレターも再び活気のあるものにしていきたい。今回は、第2期設計塾OB、再生研会員の木田さんによる報告をお願いした。(文責 丹羽結花)



2 まちづくりと都市計画についてのお話を聞きました。

6月例会「きれいなまちをつくりたい」

日時	2023年6月17日(土) 14時から17時
講師	小嶋新一(京都市都市計画局都市景観部 部長)
会場	本部(一部オンライン)
参加者	13名(本部)、8名(オンライン)

京都市の景観関連の条例が他地域に比べてとても厳しいことは周知のとおりですが、京都市が実行してきた一通りの景観政策を時系列に沿ってご説明いただくことで京都の町並みが住民と行政の両輪によって保たれ創かれていることに胸を熱くしました。また、例えば夜間の景観づくりを模索される中で手作りの行灯のような照明器具がある一角に並べて検証してみられたお話等から、ルールづくりが上からの押しつけではない姿勢を伺い知ることもできました。

一方で、意見交換の際には、建築にまつわる法令との矛盾、規制をクリアしていても良好とは言えない町並みが今もつくられていること、人の暮らしの息づかいが伴わない町並みが増え続けていることなども話題にあがりました。

新景観政策で掲げられている「見る景観」から「感じる景観」へという景観の概念の拡張は、より多くのまちづくりの当事者を必要とするものだと感じます。微力ながらも日々の暮らしと仕事の中で何ができるか改めて考えてみたいと思います。

木田 麻美子(京町家再生研究会)



スペースデザインカレッジ

「京町家の保存と再生コンペティション2023」

開催報告&投票結果発表

スペースデザイン設計科・インテリアデザイン設計科2年生の授業課題として、年々消えゆく京町家の再生に向けた提案を行なうこの取り組み。京町家再生研究会の小島様、内田様のご協力のお陰で19年目となりました。

今回の舞台は、西陣にある町家。東京校・大阪校・京都校の3校（3チーム）で分かれて課題に取り組みます。地域との関わりを考慮し、町家を保存・継承していくために利益を生み出す仕組みを提案することが求められました。

限られた時間の中で、各チーム思い思いの「使い方」を表現します。去る5月13日

には、仕上がった作品のプレゼンテーションをクライアントの皆様に向けて行い、その場で講評いただきました。また、プレゼンテーション終了後にはクライアント様と担当講師陣による投票を行い、さまざまな観点から優れた提案をしたチームを選出しました。

この度ご協力いただいた皆様へ、心より御礼申し上げます。

各作品の全容は、当校のホームページからご覧いただけます。



プレゼンテーションの様子

最優秀賞 紬 tsumugi

大阪校チーム 朝生七海／寺藤麻衣／土井愛加／中村美結／吉村成

作品について

私たちは「五感を紬ぐ」をコンセプトに音や香りをきっかけに人々が集い西陣の文化を体験する施設を提案しました。味覚テーマのカフェ「糸、おかし」嗅覚テーマのゲストハウス「常永久」触覚テーマのお菓子教室「最中工房」視覚テーマのアートギャラリー「織彩」聴覚テーマの織工房「織音」この施設が西陣地域の中心となりさらなる発展につながるよう計画しました。



環 -庭と廻る京町家-

東京校チーム 加藤晴子／儀間彩香／玉井千晴／林和成／山内桐子／吉田彩花

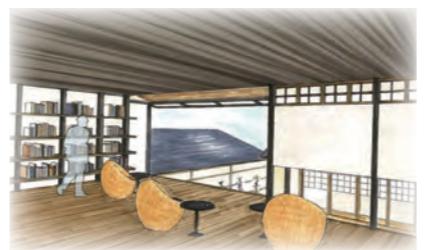
作品について

四季折々に表情を変える美しい奥庭を中心に、「古本カフェ」「ランドリー」「貸し画廊」の3つの事業が廻る複合施設を提案しました。

読書をしながらゆっくりと過ごしたり、ランドリーという意外性のある機能で観光客を呼び込んだり、西陣織の面影が残る場でアートに触れたり、様々な要素を取り入れました。

地域住民と観光客が境目なく集い、京都の伝統文化が幅広い層に再評価される事が目的です。

「環」には、強い結びつき・繋がりという意味があります。この京町家で繋がった「もの」や「人」との結びつきを大切にできる場となるよう願いを込めて。



西陣織ものづくりハブ 新舍人座

京都校チーム 青野由香／大澤美月／小梶和人／林果歩／東出陸来／堀川千晴



ご協力いただきました皆さんに心より御礼申し上げます。

スペースデザインカレッジ

東京校
〒171-0022
東京都豊島区南池袋2-27-8
TEL.03-5952-0452

京都校
〒604-8152
京都市中京区手洗水町650
TEL.075-253-1561

大阪校
〒530-0047
大阪市北区西天満2-8-1
TEL.06-6365-0017

横浜校
〒231-0002
神奈川県横浜市中区海岸通4-23
マリンビル204
TEL.045-263-9318

SPACE
DESIGN
COLLEGE
| スペースデザインカレッジ